

第39回全国中学生 人権作文コンテスト福岡県大会

福岡法務局と福岡県人権擁護委員連合会は、人権尊重の重要性への理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に作文コンテストを行っています。

県内の285校4万2569編の中から、大野東中学校の生徒の作品が奨励賞に選ばれました。

奨励賞受賞

「アルビノ問題について」
大野東中学校2年 内田莉乃さん

受賞作品のほか、筑紫地区からの応募作品の一部は、筑紫人権擁護委員協議会と福岡法務局筑紫支局が発行する、中学生人権作文集「ねがい」に掲載されます。

「ねがい」は、筑紫地区の全中学校へ配布します。

問い合わせ先

人権男女共同参画課

☎(580)1840

生ごみで堆肥をつくろう 初心者向けダンボールコンポスト講座

- 対象者 ◇市民◇市内の事業所に勤務する人
- 日時 3月6日(金) 午前10時～正午
- 会場 市役所本館3階 311・312会議室
- 内容 ダンボールコンポストを使って、家庭から出る生ごみを堆肥にする方法
- 定員 20人 (先着順)
- 申込方法 電話(住所・氏名・電話番号を伝える。)
- 申込期間 2月15日(土)～3月4日(水)

不要な堆肥を引き取ります

ダンボールコンポストで作った堆肥で不要なものは、講習会会場で、引き取りもしくは新しい基材(やしの実チップ・もみ殻くん炭)と交換します。希望する人は事前に問い合わせてください。

●申し込みと問い合わせ先

市コールセンター

☎(501)2211



あけてみよう！歴史のとびら

トレイルで発見！
大野城市の見どころ

(126)

〈その名も牛頸小学校〉

南コミュニティセンター隣の桜公園に、かつて牛頸小学校がありました。

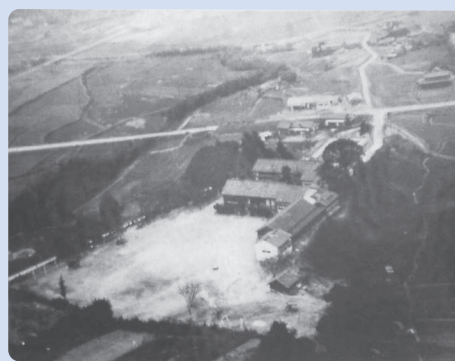
牛頸地域に小学校ができたのは、明治7年のことです。教員1人、児童数21人で開校したようですが、校舎がどこにあったのかはよく分かっていません。明治11年には、平野神社の所に18坪の校舎が建設され、校長には福岡藩の儒学者であった竹田定猗さんが招かれました。

その後、校舎が手狭になったため、明治26年に平野神社の近くに移転しました。しかし、さらなる生徒数の増加により、明治42年に現在の桜公園の地に小学校を移転しました。

移転した頃、牛頸小学校の教員は3人、児童数は130人の小さな学校で、昭和20年の軍人の日記から、設備や器具が整った学校であったことが分かります。

戦後、牛頸地域で大型の団地開発が始まり、人口・児童数が増える建物も手狭になり、昭和46年に大野南小学校を新築・移転し、牛頸小学校の名はなくなりました。現在、牛頸地域のある南コミュニティ

ティ地区には3つの小学校があり、約2000人の児童が通っています。平野小学校には、牛頸小学校の看板と初代校長竹田定猗さんの写真、学校の模型が保管されており、今なお牛頸小学校の記憶を残しています。



牛頸小学校とその周辺 (昭和36年頃)

トレイルの各地点の看板には、大野城まち歩きアプリ「ジョークエスト」でポイントが獲得できるQRコードがついており、グッズとの交換もできます。スマートフォンを持って散策してみてください。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

●問い合わせ先

ふるさと文化財課啓発・整備担当 (心のふるさと館内)

☎(558)2206